

令和6年度 第1回 浅間小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月17日（金） 午後1時30分から午後3時33分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 高橋 与人、市原 美智恵、鈴木 明子、岡本 弥佐、鈴木 秀志
- 4 欠席委員 松原 紀彦、伊藤 元之、岩崎 香織
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 由紀、佐藤 穂
- 6 オブザーバー 加藤 晴康（南部協働センター所長）
- 7 学 校 鈴木 啓二（校長）、土屋 里佳（教頭）、宮崎 由季（教務主任 教育課程担当）、
山田 幸輝（CS担当職員）、大石 文穂（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 大石 文穂
- 10 会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、高橋委員から鈴木秀志委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された鈴木秀志委員から、高橋委員を副会長に指名する旨の報告があった。

11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木会長より議長に立候補する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）令和6年度浅間小学校運営基本方針について
- （2）本年度の目標について
- （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

13 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

次に、浜松市学校運営協議会規則（第3条目的、第12条守秘義務、第15条会議の公開）の確認と学校運営協議会自己評価実施要項について説明があった。

（1）令和6年度浅間小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長より添付資料に基づき、令和6年度学校運営基本方針といじめ防止基本方針について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

また、委員からは以下の発言があった。

- ・ 挨拶はとても大切という指導に共感している。また、知徳体の習得がバランスよくグランドデザインに反映されていると感じた。（岡本委員）
- ・ 「互いのよさや違いを認め合える」という文言が特に良いと思う。（鈴木明子委員）
- ・ 自分のよさが輝く環境で育った子供たちは、心豊かな大人になるだろうと期待できる。学校で苦労していることがあれば協議会にも相談してもらい、現場の先生方の声や子供たちへの寄り添い方を参考にしながら一緒に考えていきたい。（市原委員）
- ・ 委員の意見を聞くと、1期目で協議会の協力体制が整い、素晴らしい話し合いができていたことが想像できる。（鈴木会長）
- ・ 異学年交流が活発化する中で、やさしさいっぱい活動を通して、子供たちのコミュニケーション能力の向上や、子供たちが積極的な姿勢を身に付けられるような体制が整い始めていること

を感じる。

今年のグランドデザインに新たに加わった「学年主任を中心とした学年担任制対応」の生徒指導について詳しく聞きたい。(高橋委員)

→ 3年生以上で教科担任制を行っており、自分のクラスだけでなく学年全部のクラスで同じ教科を教えるようにしている。学年全体の子供たちを見て情報を共有することで、子供の様子に変わったことがないか早くに察知でき、組織で対応できる。また、教員の負担が軽減し、働き方改革にも効果がある。(校長)

学年担任制は、教員が学年の子供全員の担任であるという意識で指導にあたることで、生徒指導やいじめの未然防止、早期発見につながるし、子供にとっても学年の先生誰にでも相談でき、安心につながると考えた。(教頭)

- ・ コーディネーターとしてグランドデザインをしっかりと理解しておきたい。(鈴木由紀コーディネーター)
- ・ 授業の中で子供たちが自分の意見を発表する、相手の意見をしっかりと聞く場面が増えていると感じる。そうした経験を通して、お互いを認め合いながら学びの基本の姿勢が身につくと思う。(佐藤コーディネーター)
- ・ 協働センターを利用する外国人が多いが、日本の日常的なマナーがなかなか守られない。今後外国人の方たちも地域での様々な役割を担うなど、他者との関わりを持つ機会が増えてくと思う。小学校では、外国人児童はどのように周りとのコミュニケーションをとっているのか気になり授業を参観した。昨年度の学校評価アンケートでは、学校を楽しんでいる児童が多いと結果が出ているので安心した。少しずつ学校生活の中で基本的な生活習慣を身につけ、コミュニケーションの取り方などを学んでほしい。(加藤オブザーバー)
- ・ グランドデザインを具現化するために、協議会としてどのような協力ができるかを引き続き考えていきたい。(鈴木会長)
- 新年度が始まって1か月半ほどが経つが、子供たちの言動にやや落ち着きのなさが見られる。教職員一同で見守っているが、トラブル未然防止のために、つばめ応援団の方にもボランティア活動として校内の見回りに協力していただきたい。(校長)
- 新年度のボランティア募集の活動内容に新たに加えさせていただきたい。(教頭)

(2) 本年度の目標について

議長より、昨年度の自己評価を踏まえ、本年度の学校運営協議会の目標について以下の二点の提案があり、全員意義なくこれを承認した。

1. やさしさいっぱい活動の充実のための話し合い
2. 子供たちが夢や希望を持つことができるような活動設定について、学校のニーズに対応する。

また、委員からは以下の発言があった。

- ・ コロナ禍の学校生活を経験しているからこそ、コミュニケーション能力が向上するようやさしさいっぱい活動を継続してほしい。(高橋委員)
- ・ 子供たちの将来の夢や希望につながるように、様々な野外活動や職業体験などができるといいと思う。(市原委員)
- ・ 現在の新しい職業形態として SNS を利用した仕事についても、選択肢の一つとして紹介できるいいのではないかな。(鈴木明子委員)
- ・ 地域には多種多様な人材資源、企業サポートがあるので利用できるといい。(岡本委員)

- ・ 総合的学習の時間などを利用するなどして、子供たちの発達段階に応じた体験の支援をしたい。（鈴木会長）

（３）夢育やらまいか事業ＣＳ加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業に対する意見書について、地域の協働活動と６年生のキャリア教育充実のために予算を使いたい旨の説明があった。

その他連絡事項等

- ・ 次回開催日時について

司会から、第２回協議会は令和６年１０月１１日（金）午後２時３０分から、南校舎２階会議室で開催する旨の連絡があった。

- ・ 第２回協議会の議長選出と熟議内容について

司会から、次回協議会の議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員より高橋副会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、次回の熟議内容については、以下の内容の提案があった。

- ・ 特色ある学校づくり
- ・ やさしさいっぱい活動について